

熱傷を認めた。まず行うべき処置はどれか？（3つ）・・・p186～189

- 1) 輸液
- 2) 鎮痛薬皮下投与
- 3) 抗生物質投与
- 4) 気管内挿管
- 5) 減張切開

解答：1, 4, 5

解説：

今回の症例では、顔面・上肢・胸部にⅢ度の熱傷。ということは、9の法則により熱傷面積を算出すると、顔面・上肢・胸部の順に「 $9 + (9 \times 2) + (18 \div 2) = 36\%$ 」である。かなり重症の患者さん。これをふまえて・・・

- 1) 受傷面積が約15%以上の場合は輸液などによる全身管理が必要。
- 2) 流水によって水冷を行い、鎮痛、消炎、浮腫を抑制する。
- 3) 熱傷部位が汚染されておらず、感染の可能性が低いときは、すぐに抗生物質を投与する必要はない。
- 4) 顔面にもⅢ度の熱傷。気管内挿管で気道の確保が必要。
- 5) 四肢末端への血行障害の恐れがある場合には、減張切開を行い壊死を防止する。